

# ドクター+フジ

## 生活習慣病になりやすいか

大阪大学医学部発のベンチャー企業・サインポスト社(大阪野区)の早川佳代子院長が「サインポスト遺伝子検査」だ。

「弥生フアーストクリニック」(東京都中野区)の早川佳代子院長



### サインポスト遺伝子検査



食事や運動に気をつけていても生活習慣病になりやすい人もいれば、気をつけていなくても生活習慣病になりにくい人もいます。その個々の体質を調べるのが「サインポスト遺伝子検査」だ。

検査で行うのは5ccの採血だけ。遺伝子の何を調べるのか。2年ほど前から導入しているスク(体質)を評価する。



検査で分かる項目の段階は、3段階から5段階まで評価される

【検査費用は?】自費で、医療機関によって異なる。弥生ファーストクリニックの場合は、事前予約制で5万円(税抜)。結果報告書が出るのは約1カ月後。

評価の基礎データは、大阪大学医学部の研究成果を中心として日本人1万症例以上を有し、アジア人を対象としたデータベースでは世界有数の規模を誇るという。

14の検査項目の中に、変わったものでは「アルコールの分解力の強さ」なども含まれる。結果報告書では、各項目のリスクが3段階もしくは5段階で評価され、測定遺伝子とその主な働きなども表示される。

「結果報告書の内容が充実しているところも大きな特徴です。各項目のリスク評価を踏まえた上で、どんな食品・栄養素を取ったらいいのか、生活改善のポイントなどが図やイラストを使って分かりやすく解説されています。」

また、同院では結果報告書を基にして、希望者には独自に運動プログラムの提供も行っている。近隣のスポーツクラブと提携していて、科学的根拠に基づいた運動指導がマンツーマンで受けられる。期間は3カ月(1クール)で、費用は30万円弱。プログラムには、血液検査、内臓脂肪CT検査、保健師による生活習慣病指導なども含まれるという。

市が開発した検査で、「肥満」「体内老化」「動脈硬化」「高血圧」「高血糖」「血栓」など、生活習慣病に関連する14項目の生まれ持った遺伝リスク(体質)を評価する。

長写真が説明する。「人の遺伝子配列は99.9%が同じですが、残りの0.1%が個人の違いを生んでいます。この違いを「SNP(スニップ)」といって、生活習慣病に関わるSNPは100種類以上あることが知られています。検査では複数のSNPを測定し、各項目に関連するSNPをどの程度多く持っているかを調べる

「サインポスト遺伝子検査の結果は、一生変わることはありません。遺伝リスク(体質)を把握した上で、自分に合った病気予防に努めてもらいたいと思います。」